

総合問題 I

A

1. ④ The girl standing over there / is my sister. (あそこに立っている少女は私の姉[妹]です)
S (分詞の後置修飾) V C 主部と述部の切れ目に休止がある。
2. ③ They didn't tell me / that they had been in love. (彼らは、愛し合っていたと私には言わなかった)
S V O₁ O₂ (名詞節) 長い名詞節を導く that の前で休止する。
3. ④ He was lost sight of / in the crowd. (彼の姿は人ごみの中で見失われた)
lose sight of ~ 「~を見失う」 群動詞の受動態。⇒12 crowd 「人ごみ」
4. ④ A man with a brown paper bag in his hand / has just arrived. (手に茶色の紙袋を持った男の人が到着したところです)
S (付帯状況の with ~ が主語を修飾) V

B

1. ③ Little attention (was paid) to her suggestion. (彼女の提案にはほとんど注意が払われなかった)
無冠詞の little は「ほとんど~ない」 pay attention to ~ 「~に注意を払う」
群動詞の中心の名詞に形容詞がついている場合、「群動詞の目的語」を主語にした受動態以外に、群動詞内の「形容詞+名詞」を主語にしたものも可能。cf. Her suggestion was paid little attention to. ⇒12
2. ② We must stay here till the typhoon (passes) away. (台風が過ぎ去るまでここにいないなければならない)
(時を表す副詞節) 未来の内容でも現在形で表す。⇒01 pass away 「過ぎ去る」
3. ① You had better (not go) to the place alone. (あなたはその場所へは1人で行かない方がよい) ⇒11
4. ① Come and stay with us for the weekend, (won't you)? (週末に私たちの家に泊まりに来ませんか)
come and do 「~しに来る」 stay with ~ 「~の家に泊まる」 命令文の付加疑問 ⇒01
5. ③ I heard you're planning to build a new house. Do you know how much (it will cost)?
heard (過去形) の影響を受けて were planning となっていないのは、現在も「計画中」だから。
(家の新築を計画していると聞いたけど、どのくらいの費用がかかるか知っているのかい?) ⇒02
6. ④ There were only six people present at the meeting, (weren't there)?
There is A+形容詞「~のAがある、いる」 present 「出席して」
(その会議には6人しか出席していなかったね) there is[are] ~ の付加疑問 isn't[aren't] there?
7. ① After lunch, (how about) going for a swim? (昼食をすませたら、泳ぎに行かないかい)
how[what] about doing? 「~しませんか」 going (動名詞) に着目。
8. ④ “(What do you think is) the problem?” asked the teacher, but nobody answered.
Yes/ No で答えられない、間接疑問を含んだ疑問文 → 疑問詞が文頭に出る。⇒03
(「何が問題だと思いますか」と先生が尋ねたが、だれも答えなかった)
9. ③ I lent her my book which I (had bought) the day before. (私は前日に買った本を彼女に貸してあげた)
「本を買った」のは「貸した」よりも古い出来事。大過去 ⇒06 the day before 「その前の日」
10. ③ The weather (will have changed) for the better by the time we get there.
未来完了形 change for the better 「好転する」 (基準は未来)
(私たちがそこに着くころまでには、天気は良くなっているだろう)
11. ④ When I was a student in high school, I (should have studied) harder.
前半部分の時制から過去の行為に対する後悔であることがわかる。should have+過去分詞 ⇒10
(高校生だったころ、もっと一生懸命勉強しておけばよかった)
12. ④ It (has been) ten years since the two companies merged.
It is[has been] 期間 since ⇒2章 B-1 merge 「合併する」
(その2つの会社が合併してから10年になる)
13. ④ He (cannot) be a good student, for he never studies.
後半の内容から、否定であることがわかる。for ~ 「というのは~だから」(接続詞)
(彼が優秀な生徒であるはずがない。まったく勉強しないんだから) ⇒07

14. ④ You (must have been) surprised to find him in the concert hall last night.
last night (過去の出来事) と be surprised 「驚く」という表現に着目。② might be に過去の意味はない。
(昨夜コンサートホールで彼を見つけて、あなたは驚いたにちがいない) must have+過去分詞 ⇒10
15. ③ Something must (be done) to save the world. 助動詞を含む受動態 ⇒12
something が主語であることに着目。world 「世界の人々、世の中、世界、地球」
(世界の人々を救うために、何とかしなければならない→何かがなされなければならない)

C

1. ③ You had better go home before it gets(← will get) dark. (暗くならないうちに家に帰った方がいい)
(時を表す副詞節) 未来の内容でも現在形。⇒01
2. ② I ought to have phoned(← phone) Ned this afternoon, but I forgot.
I forgot から過去の出来事に対する後悔だとわかる。ought to have+過去分詞 ⇒10
(今日の午後ネッドに電話するべきだったのに、忘れてしまった)
3. ① Kate was surprised(← a surprise) that her son had gone to the mountains to ski.
「驚いた」は受動態で表現する。⇒11 (ケイトは、息子がスキーをしに山に行ったことに驚いた)
4. ③ Professor Suzuki called to find out where the meeting was(← was the meeting) being held.
find out 「調べる」 間接疑問の語順 ⇒02 過去進行形の受動態 ⇒12
(鈴木教授は、その会議がどこで行われているかを調べるために電話をかけた)

D

1. ここへ来てから何年になりますか (ここに何年住んでいますか)。
(How many years have you lived here)?
現在までの状態の継続 → 現在完了形 ⇒05
2. 次の世紀がどのようなものになるか想像できますか。
Can you imagine (what the coming century will be like)?
「Aはどのような人(物)か」 what is A like? の未来表現が間接疑問になっている。⇒1章 B-6
3. あんな人たちを信用すべきではなかった。
I (ought not to have trusted those people).
過去の行為に対する後悔の表現。⇒10 not の位置に注意。
4. ところで今、何時だと思えますか。
By the way (what time do you think it is) now?
Yes/ No で答えられない、間接疑問を含む疑問文 ⇒03, B-8 What time is it now? が文中に組み込まれている。
5. 負傷者たちは救急車に運び込まれているところでした。
(The wounded were being put into) ambulances.
the + 分詞/形容詞=分詞/形容詞 + people ex. the living 「生存者たち」, the young 「若い人たち」
were being put : 過去進行形の受動態 ⇒12 ambulance 「救急車、救急船舶【飛行機、ヘリコプター】」
6. まだ使えるもの(使われることができるもの)を捨てるべきではありません。
You (should not throw away what can still be used).
throw away 「捨てる」 what can be used は what you can use の受動態。⇒12
still 「まだ、今でも、今後も」の位置はふつう一般動詞の前、be 動詞や助動詞の後。
7. 本当に必要でなければ私は(むしろ)手術を受けたくない。
I (would rather not have the operation unless) it is absolutely necessary.
would rather not do 「(むしろ) ~したくない」 ⇒11, 4章 D-4 absolutely 「本当に、絶対、まったく」
「手術を受ける」 → have/ undergo an operation (× take/ get an operation)
「手術を行う」 → perform/ carry out/ do an operation